

グローバル環境システムリーダーコース(GESL) (2025年度入学者)

【サティフィケート名称】

「グローバル環境システムリーダー(Global Environmental System Leaders)」

【サティフィケート修得要件】

2023年4月以降からのコース履修者(修士・博士課程学生)のうち、GESLサティフィケートの取得を希望する学生は、サティフィケート取得を目指しはじめた学期に、政策・メディア研究科(SFC)または理工学研究科(矢上)の担当教員にコース履修の希望を申し出てください。

<GESL担当教員>

政策・メディア研究科: 藁谷郁美 ikumi(at)sfc.keio.ac.jp

理工学研究科: 泰岡 顕治 yasuoka(at)mech.keio.ac.jp

下記の1, 2, 3, 4, 5と、後期博士課程の修了要件を満たし、「GESLワークショップ」における口頭発表と最終合否判定に合格すると、本コースで修得した専門性「グローバル環境システムリーダープログラム」が付記された学位記とともに、メジャー(主専攻分野)およびマイナー(副専攻分野)の学問分野を修得したことを示すGESLサティフィケートが授与されます。

1. 「GESL 1(メジャー科目)」として、所定の科目群から1~2科目を履修し、合計4単位以上取得すること。
2. 「GESL 2(マイナー科目)」として、所定の他研究科の科目群から1科目を(自由科目として)履修し、合計2単位以上取得すること。
3. 「国際トレーニング科目」として、所定のフィールドワーク/インターンシップ(合計8単位)を実施すること。
4. 国際会議(プログラム委員会が組織され、英語で発表が行われるシンポジウム・カンファレンスなど)で2回以上の英語による発表を行うこと。
5. 英語能力条件を充足すること。

科目区分		科目名
1	GESL 1 (メジャー科目)	「GESL 1(メジャー科目)」として、表下の科目群から1~2科目を履修し、合計4単位以上取得すること。年1回開催されるGESLワークショップにおける口頭発表と最終合否判定の際に、GESL 1(メジャー科目)として単位取得済みの報告を行うこと。
2	GESL 2 (マイナー科目)	「GESL 2(マイナー科目)」として、以下の他研究科の科目群から1科目を(自由科目として)履修し、合計2単位以上取得すること。GESLワークショップにおける発表と最終合否判定の際に、GESL 2(マイナー科目)として単位取得済みの報告を行うこと。 (1)理工学研究科設置科目(政策・メディア研究科学生が履修する対象): GESL 1(メジャー科目)の候補として挙げられている理工学研究科設置科目 (2)政策・メディア研究科設置科目(理工学研究科学生が履修する対象): GESL 1(メジャー科目)の候補として挙げられている政策・メディア研究科設置科目
3	国際トレーニング 科目	「国際トレーニング科目」として、フィールドワーク/インターンシップ(合計8単位)を実施し、GESLワークショップにおいて口頭発表を行い、審査に合格すること。 国際トレーニング科目として申請できる科目は以下のとおり。 ・先端フィールドワークA・B・C・D(それぞれ、8単位、4単位、4単位、6単位):修士・博士 ・フィールドワークA・B(各2単位):修士 インターンシップA・B(各2単位):修士 ・グローバル・パートナーズ・ネットワーク ・グローバル・イシュー・プラクティス
4	国際会議発表	国際会議(プログラム委員会が組織され、英語で発表が行われるシンポジウム・カンファレンスなど)で2回以上の英語による発表を行うこと。

5	英語要件	次の英語能力条件を充足すること。 Computer Based TOEFL 213 点以上(Paper Based TOEFL で受験した場合は550 点以上)、(Internet Based TOEFL で受験した場合は79-80 点以上)、または、TOEIC 730 点以上、TOEIC L&R-IPテスト(学内テスト)730点以上以上、iELTsバンドスコア6以上、または、実用英語技能検定準1 級以上の英語能力を有すること。(それに順ずる英語能力試験については、GESL担当教員へ問い合わせること)。 ただし、英語圏の大学を卒業し、学士の学位を授与された者、もしくは、これに準ずる者は、本要件を免除される。
---	------	--